

第54回「全国漆器展」

～ 審査講評 ～

審査日時： 令和元年 10月3日（木） 15：00～17：45

会 場： 一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 大会議室
〒107-0052 東京都港区赤坂 8-1-22-2F

出品産地：	津 軽 塗（青 森 県）	川連漆器（秋 田 県）
	会 津 塗（福 島 県）	江戸漆器（東 京 都）
	木曾漆器（長 野 県）	高岡漆器（富 山 県）
	輪 島 塗（石 川 県）	山中漆器（石 川 県）
	越前漆器（福 井 県）	紀州漆器（和歌山県）
	香川漆器（香 川 県）	

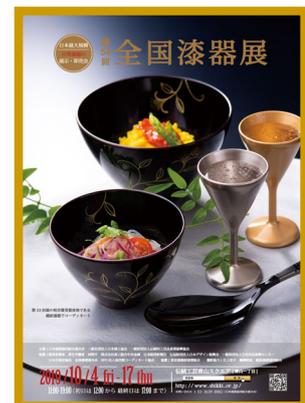
賞の種別： 桂宮賞・内閣総理大臣賞・日本経済新聞社賞

【団体賞】 産業工芸品部門

【個人賞】 経済産業大臣賞
経済産業省製造産業局長賞
（株）商工組合中央金庫社長賞
（公財）日本デザイン振興会賞
（一財）生活用品振興センター理事長賞
（一社）日本百貨店協会会長賞
（NPO）食空間コーディネイト協会賞
日本漆器協同組合連合会理事長賞
審査員特別賞
奨励賞

美術工芸品部門

農林水産大臣賞
林野庁長官賞
日本経済新聞社賞
（一財）伝統的工芸品産業振興協会賞
全国漆業連合会会長賞
（一社）日本漆工協会理事長賞
審査員特別賞
奨励賞





農林水産大臣賞
[盛皿グリーン(魚)]
渡辺漆器店(香川漆器)

枋材を緑漆で摺漆し、杳目を水面の揺らぎや水草に見せている。その中に螺鈿と黒漆で描かれた魚たちがゆっくりと泳ぐ。技術的に難しい事を行なっている訳ではないが、作者が杳目を見た時の水へのひらめきが審査員の心を掴み共感を得たと見えよう。また、この作品の評価は低価格で市場性の得点が満票であった。



林野庁長官賞
[入れ子三段箱]
坂本 彰彦(津軽塗)

入れ子式になっており3個の箱が1個に収納でき、その精度は高い。用途に合わせて書類入れやお重としても使用できるデザイン。津軽の代表的な変わり塗りの「唐塗り」「紋紗塗り」を用い四角の箱に対しシンプルにまとめ上げている。箱の内側の塗り立て技術も申し分ない優作である。



日本経済新聞社賞
[コーヒーカップ 椿研出し蒔絵]
株式会社輪島屋善仁(輪島塗)

椿の花と葉が金蒔絵で心地よく配されたコーヒーカップ。そのデザイン性と研ぎ出し蒔絵の技術力が審査員の票を集めた。曲面に施す研ぎ出し蒔絵は非常に難度が高いのだが、巧みなゆえその難しさを感じさせない。審査員から「椿の咲く季節に、この漆の器でコーヒーを飲んでみたい」との声。



一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞
[漆蒔絵 兜 翔龍]
株式会社山加荻村漆器店(木曾漆器)

端午の節句は健やかな成長を願う男の子のお祝い、兜の両側の吹返には力強い龍の蒔絵が施されており、強く元気に育って欲しい子供への願いを感じる。審査員から「大きさも現代の生活空間に馴染み、これなら欲しい」「これなら外国の方にも買って頂けそう」などの感想。



全国漆業連合会会長賞
[文庫彩色キンマ「瑞鳥」]
文新堂漆器工業有限公司(香川漆器)

蒔髹は漆塗り面に刃物で文様を彫り、その溝に色漆を篋で埋めて研ぎ出し磨き上げる技法。意匠は瑞鳥の鳳凰、幾何学的な文様とし色漆の緑、赤、白、地の黒の配色のバランスがよい。硬化した塗膜を彫る為、この作品の筆で描いた様な柔らかい曲線は難度が高く、技術力でも評価された。



一般社団法人日本漆工協会会長賞
[大棗 花みずき]
茶平漆器店(輪島塗)

4月から5月に咲くハナミズキで飾られた棗、白と赤の花と葉の構成も気が利いており、心地良い。沢山の花が咲く春の穏やかな日、茶席を飾る美しい棗になっている。金蒔絵の点描もこの作品の魅力に味を加えている。技術面やデザイン面で高い評価を得た作品。



審査員特別賞
[「つづみ」サイドテーブル]
株式会社森繁(香川漆器)

後藤塗りは朱漆を塗り、硬化しないうちに指で表情をつけ硬化後に透漆を塗り磨き上げる変わり塗り。茶褐色の透明漆の奥に上品な朱が魅力、この作品のテーブル面も非常に品良く仕上がり美しい。しかし、もう一つ票が集まらなかった理由として、独楽塗りのストライプが強いため上面の良さが消されてしまっているのが勿体無い。



奨励賞
[乾漆提盤]
若島漆器店(輪島塗)

乾漆は材料に麻布と漆、土を用いる技法で、自由な造形ができ軽量に仕上げられる。この作品も柔らかな曲線と曲面の造形で仕上げられており、乾漆の良さが出ている。表面の朱溜塗しも上品に仕上がっているが市場性(価格)の評価で票が集まらなかったと言える。



奨励賞
[喰籠 溜]
高野 順一(越前漆器)

八角形の三段の喰籠。この張りのある形態と三段の組み合わせを造る木工の技術は非常に高い。また角物の朱溜の塗り立て技術も美しく上品で審査員の票を集めた。技術面での評価は高かったものの市場性(価格)の評価で票が集まらなかったと言える。



奨励賞
[尺6寸パーティー皿 さざ波]
畠中 昭一(越前漆器)

50cm近い大ぶりのパーティー皿、上面は波の模様が薄く盛り上がっている。大胆なレリーフと塗り立ての仕上げで、迫力のある作品に仕上がっている。欲を言えば朱溜塗りの斑や波のレリーフの終わる縁の処理が美しいと尚良かった。大胆な中に繊細な仕事があると票が集まっただろう。

令和1年10月3日

第54回「全国漆器展」個人賞(美術工芸品部門)

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
農林水産大臣賞	1507	盛血グリーン(魚)	渡辺漆器店	香川県漆器工業協同組合
林野庁長官賞	1	入れ子三段箱	坂本彰彦	青森県漆器協同組合連合会
日本経済新聞社賞	1010	コーヒーカップ 椿研出し蒔絵	株式会社屋善仁	輪島漆器商工業協同組合
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	601	漆蒔絵 兜 翔龍	佛山加荻村漆器店	木曾漆器工業協同組合
全国漆業連合会会長賞	1505	文庫彩色キンマ「瑞鳥」	文新堂漆器工業(株)	香川県漆器工業協同組合
一般社団法人日本漆工協会理事長賞	1002	大罌 花みずき	茶平漆器店	輪島漆器商工業協同組合
審査員特別賞	1506	「つづみ」サイドテーブル	株式会社森繁	香川県漆器工業協同組合
奨励賞	1006	乾漆提籠	若島漆器店	輪島漆器商工業協同組合
奨励賞	1305	喰籠 溜	高野順一	越前漆器協同組合
奨励賞	1302	尺6寸パーティー皿 さざ波	畠中昭一	越前漆器協同組合

産地組合名	出品番号	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計
香川県漆器工業協同組合	1507	盛血グリーン(魚)	渡辺漆器店	15	10	10	50	85
青森県漆器協同組合連合会	1	入れ子三段箱	坂本彰彦	7	11	11	40	69
輪島漆器商工業協同組合	1010	コーヒーカップ 椿研出し蒔絵	株式会社屋善仁	6	8	10	40	64
木曾漆器工業協同組合	601	漆蒔絵 兜 翔龍	佛山加荻村漆器店	7	6	6	30	49
香川県漆器工業協同組合	1505	文庫彩色キンマ「瑞鳥」	文新堂漆器工業(株)	7	4	6	30	47
輪島漆器商工業協同組合	1002	大罌 花みずき	茶平漆器店	3	7	6	30	46
香川県漆器工業協同組合	1506	「つづみ」サイドテーブル	株式会社森繁	5	4	7	30	46
輪島漆器商工業協同組合	1006	乾漆提籠	若島漆器店	3	4	8	30	45
越前漆器協同組合	1305	喰籠 溜	高野順一	4	6	5	30	45
越前漆器協同組合	1302	尺6寸パーティー皿 さざ波	畠中昭一	4	6	6	20	36
輪島漆器商工業協同組合	1009	升升	采色塗 なか門	3	4	6	20	33
香川県漆器工業協同組合	1501	乾漆「ひねり」	漆工房北山	4	4	5	20	33
山中漆器連合協同組合	1102	四季草花蒔絵香炉	佛うるしアートはりや	2	4	6	20	32

美術工芸品部門審査結果(上位13作品)



経済産業大臣賞
[JUBACO]
山口 玲示(越前漆器)

造形の美しさ、緊張感、使い勝手も含めてとても素敵な作品です。今回の審査ではダントツの1位でした。重箱ですが、オードブルにも使え、またサンドイッチやチョコレートなどを詰めて、お客さんが来た時のティータイムを楽しく演出出来るそうです。一見幾何学的な印象を受けますが、昭和中期のレトロモダンを彷彿とさせる、どこか温かみのあるデザインに人間味があり、所有する喜びへと繋がります。



経済産業省製造産業局長賞
[富士山盛込器揃え]
成実 嘉宣(越前漆器)

産業工芸品部門でアートの的なこの作品が2位に入るのには不思議だと思いつつも、審査員の皆が欲しいと思いを表した結果が、この評価に結びつきました。使用シーンに想像力が問われますが、テーブルマット的に使用するのも良さそうです。上部に食器を楽しく配置することで、富士山を見立てた折りがより際立ち、箱庭的な素敵な世界が生まれそう。国際的なパーティー会場などでは、海外の賓客からも気に入ってもらえそうです。折り部分を重ねた時の重なりが気持ちよく、スタック性にも優れています。



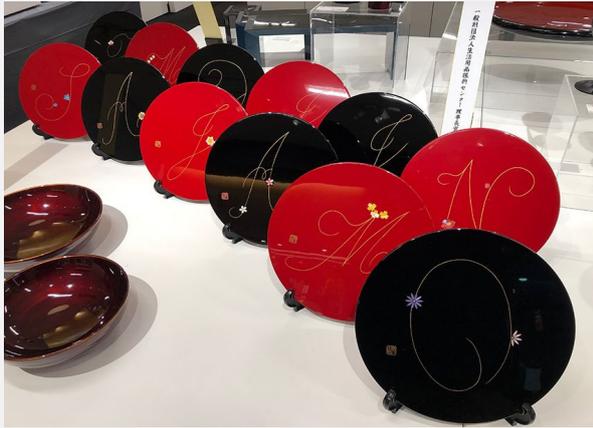
株式会社商工組合中央金庫社長賞
[Chardonnay NERO ROSSO]
有限会社大尾嘉漆器(山中漆器)

砂時計的な、流体が流れ落ちる時に生まれる美しいラインを造形に感じます。これだけの緊張感がある造形には相当な技術力が必要ですが、その技術力を感じさせず、触った時に手に馴染む、また暮らしに馴染むデザインへと昇華させている点が魅力です。マットな質感が、ガラスとは違う、漆ならではの質感を創り出しています。日本酒を美味しく頂けそうです。



公益財団法人日本デザイン振興会賞
[琥珀 (KOHAKU) 三ツ組鉢]
山田秀樹(越前漆器)

コツコツと実直な作業のもとで作られた本作は、“漆ならではの美しさ”を直球で感じる事ができ、白檀塗りの美しさを改めて私たちに気づかせてくれます。制作にはなかなかの高度な技術が必要であり、まさに漆器の王道と感じます。比較的どんな食材にも合い、所有欲が満たされる逸品です。



一般財団法人生活用品振興センター理事長賞
 [飾板 花暦(はなごよみ)]
 天野漆器株式会社(高岡漆器)

12枚並んだ飾り板は、審査会場に於いてもなかなか勢いがあり、伝統とはまた少し違った、若々しさを感じることが出来ました。使用するシチュエーションはどんなものがあるでしょうか。例えばお誕生月のお祝いとか。またはホテルや新しいお店が出来た時に、お部屋ごとに飾るのも良さそうです。月ごとに描かれた螺鈿のデザインが可愛らしく、それでいて繊細で、愛着を持つことが出来ます。



日本百貨店協会会長賞
 [酒器 螺旋 大・小]
 有限会社中出漆器店(山中漆器)

螺旋のデザインがさりげなく、それでいてとても持ちやすいです。伝統的なかたちですが、細かいディテールも含めてシンプルに美しく、欲しいな、と思わせる力を作品が持っています。価格もリーズナブルで、市場性にも期待が持てます。この酒器があることでお酒がより美味しく引き立ちそうな作品です。



NPO 法人食空間コーディネート協会賞
 [三つ組 多用台 青貝入り]
 氏家漆器株式会社(高岡漆器)

組み合わせ次第で、食材を空間にコーディネートすることが出来ます。平坦になりがちなテーブル上に高さ方向の空間が生まれ、楽しい食の空間を演出します。パーティーなど、大人数で食を楽しむ場に重宝しそうです。



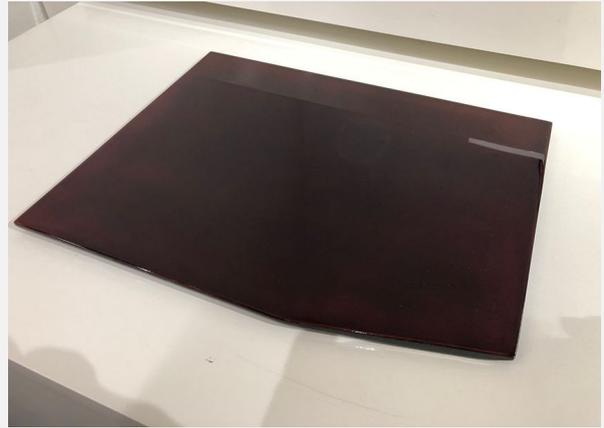
日本漆器協同組合連合会理事長賞
 [大皿]
 井上漆器店(川連漆器)

直径42センチメートルの大皿。大きさのインパクトもあり、立派な見た目です。料理が生ますし、ご家庭でもひとつあるとテーブル上のアレンジにとっても使いやすいかと思います。表現では、表と裏の表情の差に注目です。表と裏ではまったく違った表情を見せます。



審査員特別賞
[二段弁当箱]
今年人(津軽塗)

個人的にとっても好きな作品です。審査に於いて個人的に好きというのは大きな票に結びつかないかもしれませんが、これからの時代、市場性ばかりで製品を作るよりも、個人が良いな、と思えるものを創ることはとても重要になるだろうと感じます。七々子塗りは表情に特徴があり、全面にこの表情を用いると見る人によっては表情にクセがあるように感じがちですが、唐辛子をリズムカルに配置することにより、全体をとても美しくまとめていて素敵です。



奨励賞
[点心盆 溜]
市中漆器工房(輪島塗)

なんだろう、この緊張感。とてつもなくかっこ良いです。斜めにカットされた断面も美しく隙が無い。まさに造形美だと感じます。食材を選びそうですが、洋食でも和食でも、ピタリとはまった食材が置かれた時の状況を見てみたい。きっとそこには食の素敵な時間が待っています。



奨励賞
[角盆のみ目象谷]
株式会社川口屋漆器店(香川漆器)

日常的にとっても使いやすそうです。縁があるとお皿をすべて置ききれないですが、これは少しはみ出しても置くことが出来るので食の演出の可能性が広がります。大きさも適度で、また、とてもリーズナブルな点にも好感が持てます。彫りと磨きの表情のコントラストが更にあると、表現に緊張感が増し、さらに良いものになったかと思えます。



奨励賞
[越前塗・和紙・焼 もてなし盛皿セット]
株式会社土直漆器(越前漆器)

越前焼、越前和紙、越前塗りの、3つの産地のコラボレート。陶器であるということを見せる為に、塗りにさまざまな工夫が見られます。漆には紫外線に強く、また食器洗浄機の使用等現代の生活にも対応するMR漆を使用。見た目にお洒落でありながら、日常的にもとても使いやすそうです。

第54回「全国漆器展」個人賞（産業工芸品部門）

賞名	出品番号	品名	出品者	産地組合名
経済産業大臣賞	1309	JUBACO	山口怜示	越前漆器協同組合
経済産業省製造産業局長賞	1306	富士山盛込器揃え	成美嘉宣	越前漆器協同組合
株式会社商工組合中央金庫社長賞	1103	Chardonnay NERO ROSSO	御大尾嘉漆器	山中漆器連合協同組合
公益財団法人日本デザイン振興会賞	1307	琥珀(KOHAKU) 三ツ組鉢	山田秀樹	越前漆器協同組合
一般財団法人生活用品振興センター理事長賞	909	飾板 花曇(はなごよみ)	天野漆器株式会社	伝統工芸高岡漆器協同組合
日本百貨店協会会長賞	1106	酒器 螺旋 大・小	御中出漆器店	山中漆器連合協同組合
NPO法人食空間コーディネート協会賞	905	三ツ組 多用台 青貝入り	氏家漆器株式会社	伝統工芸高岡漆器協同組合
日本漆器協同組合連合会理事長賞	101	大皿	井上漆器店	秋田県漆器工業協同組合
審査員特別賞	3	二段弁当箱	今年人	青森県漆器協同組合連合会
奨励賞	1005	点心盆 溜	市中漆器工房	輪島漆器商工業協同組合
奨励賞	1508	角盆のみ目象谷	榊川口屋漆器店	香川県漆器工業協同組合
奨励賞	1310	越前塗・和紙・焼 もてなし盛皿セット	榊土直漆器	越前漆器協同組合

産地組合名	品番	品名	出品者	作品合計				
				市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計
越前漆器協同組合	1309	JUBACO	山口怜示	13	16	14	60	103
越前漆器協同組合	1306	富士山盛込器揃え	成美嘉宣	11	14	13	50	88
越前漆器協同組合	1307	琥珀(KOHAKU) 三ツ組鉢	山田秀樹	9	15	13	50	87
山中漆器連合協同組合	1106	酒器 螺旋 大・小	御中出漆器店	10	13	12	50	85
伝統工芸高岡漆器協同組合	909	飾板 花曇(はなごよみ)	天野漆器株式会社	11	10	8	50	79
山中漆器連合協同組合	1103	Chardonnay NERO ROSSO	御大尾嘉漆器	8	12	11	40	71
伝統工芸高岡漆器協同組合	905	三ツ組 多用台 青貝入り	氏家漆器株式会社	10	11	9	40	70
青森県漆器協同組合連合会	3	二段弁当箱	今年人	10	11	9	40	70
秋田県漆器工業協同組合	101	大皿	井上漆器店	7	11	8	40	66
輪島漆器商工業協同組合	1005	点心盆 溜	市中漆器工房	9	9	7	30	55
香川県漆器工業協同組合	1508	角盆のみ目象谷	榊川口屋漆器店	8	8	7	30	53
越前漆器協同組合	1310	越前塗・和紙・焼 もてなし盛皿セット	榊土直漆器	7	7	8	30	52
木曾漆器工業協同組合	610	nami plate・nami plate (muji)	榊山加茂村漆器店	6	8	6	30	50
秋田県漆器工業協同組合	105	二段弁当箱 磚地 (秋田県産珪藻土使用)	秋田・川連塗 寿次郎	6	7	6	30	49

産業工芸品部門審査結果(上位14作品)

【審査方法】

各産地の予備審査を経て出品された「美術工芸品部門33作品」、「産業工芸品部門37作品」を対象として、審査員は各部門の評価ポイントの評価などを勘案し、以下の手順で審査を実施した。

審査部門	出品内容	出品条件	評価ポイント			
			市場性	デザイン性	技術力	機能性(日常性)
			「売れる」観点での評価			
			販売ターゲットが明確 価格設定が優れている	見た目に美しい 使い勝手に優れている	卓越した技術力、伝統的な技法の採用 革新的な技術の採用	現在のライフスタイルにあった機能の保持 新たな提案
美術工芸品	漆器	新作少量品	◎	◎	◎	○
産業工芸品	漆器 合成漆器	新作品量産品	◎	◎	○	◎

1. 担当部門の10作品を選出。
2. 選出した作品毎に、各評価ポイントを「非常によい」「よい」「ふつう」の3段階で評価したうえで投票。
3. 投票を集計し、総得票数の上位12作品程度を最終候補作品として、以下の手順で個人賞を決定。

～個人賞の決定手順～

産業工芸品部門	分類	美術工芸品部門
経済産業大臣賞 経済産業省製造産業局長賞	① 官公庁	農林水産大臣賞 林野庁長官賞
株式会社商工組合中央金庫社長賞 公益財団法人日本デザイン振興会賞 一般財団法人生活用品振興センター理事長賞 一般社団法人日本百貨店協会会長賞 NPO 法人食空間コーディネート協会賞 日本漆器協同組合連合会理事長賞	② 公的・ 公共機関/ 業界団体	日本経済新聞社賞 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞 全国漆業連合会会長賞 一般社団法人日本漆工協会理事長賞
審査員特別賞 奨励賞	③ 審査会	審査員特別賞 奨励賞

- (1) 分類①の各賞については、各部門の得票数の1位と2位で決定した。
- (2) 分類②の各賞については、各部門の得票数3位以降の作品と各賞交付団体の特性とのマッチングなどを行い、各賞を決定した。
- (3) 分類③の各賞については、残りの最終候補作品の得票数上位より順番に決定した。

～団体賞の決定手順～

- (1) 個人ポイントを産地組合毎に集計したうえで、個人賞毎に設定された受賞ポイントを加算した総ポイントの上位より、各賞を決定した。

第1位	第2位	第3位
桂宮賞	内閣総理大臣賞	日本経済新聞社賞

団体賞受賞産地組合

賞名	産地組合名	総得点
桂宮賞	越前漆器協同組合	548
内閣総理大臣賞	香川県漆器工業協同組合	362
日本経済新聞社賞	輪島漆器商工業協同組合	306

産地組合別ポイント集計表

産地組合名	美術工芸品部門					産業工芸品部門					合計	受賞 加点	総得点
	市場性	デザイン性	技術力	選定P	小計	市場性	デザイン性	機能性	選定P	小計			
越前漆器協同組合	10	15	16	70	111	44	56	52	210	362	473	75	548
香川県漆器工業協同組合	34	25	30	140	229	10	13	10	50	83	312	50	362
輪島漆器商工業協同組合	16	25	33	130	204	11	12	9	40	72	276	30	306
伝統工芸高岡漆器協同組合	5	6	7	30	48	28	31	24	130	213	261	20	281
山中漆器連合協同組合	5	7	9	30	51	23	30	29	110	192	243	20	263
木曾漆器工業協同組合	9	8	7	40	64	17	25	23	100	165	229	10	239
青森県漆器協同組合連合会	7	11	11	40	69	13	15	12	60	100	169	25	194
秋田県漆器工業協同組合						16	24	19	90	149	149	10	159
会津漆器協同組合	3	3	2	10	18	0	0	0	0	0	18	0	18
東京都漆器商工業協同組合						3	3	2	10	18	18	0	18
紀州漆器協同組合						0	0	0	0	0	0	0	0

第54回「全国漆器展」審査員名簿

審査員長	東京藝術大学 参与 名誉教授 三田村有純	
部門	産業工芸品	美術工芸品
審査 部門長	東京藝術大学デザイン科 准教授 鈴木 太朗	東京藝術大学工芸科 准教授 青木 宏暲
審査員	経済産業省 製造産業局 生活製品課 企画官 亀山 渉	林野庁 林政部 経営課 特用林産対策室長 小島健太郎
	江上料理学院 院長 江上 栄子	—
	株式会社三越伊勢丹 ライフデザイン MD 統括部 統括部長 木村 観邦	株式会社世界文化社 取締役 上席執行役員 今井 朗子
	公益財団法人日本デザイン振興会 常務理事 齊藤 光好	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事 宮川 孝昭
	一般財団法人生活用品振興センター 理事長 中川 繁樹	一般社団法人日本漆工協会 理事長 玉川 義隆
	日本漆器協同組合連合会 理事長 土田 直	—

(敬称略・順不同)



審査風景

第 54 回「全国漆器展」審査講評

令和元年 10月10日制作

制 作 日本漆器協同組合連合会 事務局
〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二丁目 15 番 2 号 松島ビル 4F
一般財団法人生活用品振興センター内
TEL 03-3639-8882 FAX 03-3639-8880 E-mail info@shikki.or.jp
URL <http://www.shikki.or.jp/>

本資料を引用・転載する場合は、制作宛にご一報ください。

なお、日本漆器協同組合連合会会員においてはこの限りではありません。